

# ワックス インジェクター

## 目 次

	頁
1. 各部の名称	2
2. 付属・別売ノズル	2
3. 設置・使用	3
4. 応 用	3

このたびは、エンゼル製品をお買い戴き有り難うございます。

ワックス インジェクターは、色々なスプルーやバー、クラスプ等の線ワックスを必要な時、必要な量を簡単に自作する事ができます。

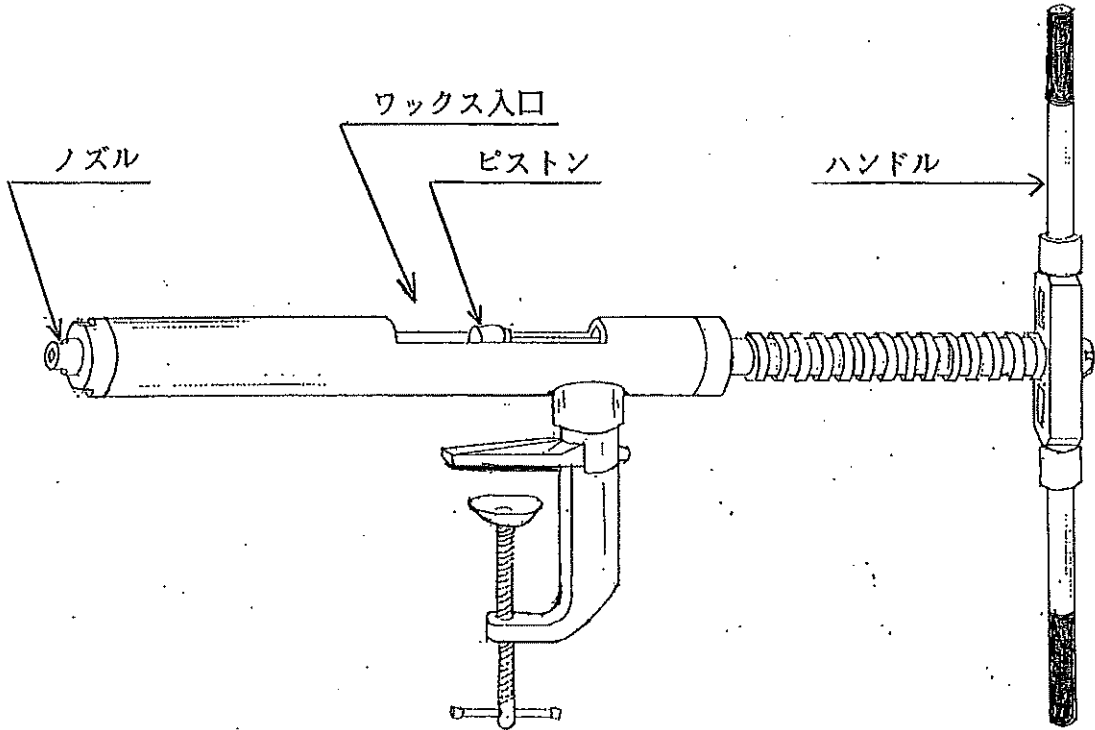
又、ノズルを加工すると、オリジナルの形・大きさを作る事もできます。

ワックスの再利用や、オリジナルの線ワックス（粘度・弾性度・形・大きさ等）作成にお役立て下さい。

別売ノズルも豊富に準備しております。

あわせてご利用下さい。

## 1. 各部の名称



## 2. 付属・別売ノズル

付属ノズル		
円 φ0.5	円 φ2.0	半円 2.0 mm
" φ1.0	" φ5.0	" 3.0 mm
リングルバータイプ		パラタルバータイプ

別売ノズル	
円 φ0.8	円 φ3.0
" φ1.5	" φ3.5
" φ2.5	" φ4.0

付属品		
ノズル交換用レンチ	ハンドル	ゴム棒

半円 1.5 mm
-----------

### 3. 使用

- ① 安定した机に本器具を固定する。
- ② ピストン（ハンドル側）の安全ネジを取りはずし、ハンドルを装着する。  
（ハンドル装着後、必ず安全ネジを取付け元の状態にする。）
- ③ ハンドルを逆時計方向に回転させ、ピストンをワックス挿入口より、後方に移動させる。
- ④ ピストンをスムーズに動かす為に、予め少量のグリースを塗布している。  
ピストンの先に付着したグリースは取り除いて下さい。  
（ピストンの先に付着したグリースは、押出成型されたワックスの中に、巻き込み不都合を生じさせます。）
- ⑤ 市販のパラフィンワックスやインレーワックスを、最大直径15<sup>mm</sup>・長さ70<sup>mm</sup>の棒状に加工し、本器具に充填する。  
（加工した棒ワックスの中には、できる限り気泡を少なくすると、押出成型されたワックスは綺麗に仕上がります。）
- ⑥ 再利用のワックスやオリジナル（粘度・弾性度）ワックスを調合する場合、付属のワックス棒成型ゴム（ゴム棒）を利用して、一度ワックスを溶解させ、ゴム棒に流し込み、冷却後ワックス棒として使用すると、大変便利です。  
（この時も、できるだけ気泡を巻き込まないようにする事。  
又、不純物の巻き込みも、避ける事。）
- ⑦ ワックスの選択には、熱膨張（冷却収縮）の少ないものが、良好な結果が得られます。
- ⑧ 希望するノズルを取付け、ハンドルを時計方向に回転させ、ワックスを押出成型する。
- ⑨ 押出スピードは、径が太いほど、ゆっくり押出すと良い。

### 4. 応用

- ① ノズルを加工すると、お好みの太さや形のワックス線を、押出する事ができます。  
加工例（△・□・☆ 等）
- ② ワックスを調合する事でお好みの粘度や弾性度のあるワックス線を押出する事ができます。